

# 起業家輩出への更なる挑戦

～起業マインドの高揚に向けた処方箋～



学校法人近畿大学 常任  
理事・経営戦略本部長  
世耕石弘氏



東京科学大学 特任教授、関西  
ベンチャー学会・日本ベンチャ  
ー学会理事、東京医科大学理事  
杉田定大氏

キーノートスピーカー講演

「近大流コミュニケーション戦略  
としての起業支援」

「わたしのベンチャー応援人生を振り返って」

パネルディスカッションテーマ「起業予備軍の発掘から起業へ」



大阪公立大学大学院  
教授 小関珠音氏

commentator

女性起業家コミュニティわくわく  
代表 三根早苗氏



panellist

株式会社やるかやらんか  
代表取締役CEO 西 奈槻



panellist

2026 3/14 土

会場

近畿大学東大阪キャンパス  
3号館 実学ホール

10:00～18:30 9:30～ 受付開始

参加費 会員：1,000円 非会員：2,000円 学生：無料 懇親会：4,000円

申し込み方法 Peatixより事前申し込み 3月7日（土）締切

<https://peatix.com/event/4791124>

Peatix申し込みQRコード ↑



問い合わせ先 関西ベンチャー学会事務局 TEL 072-688-7277 MAIL [info@kansai-venture.org](mailto:info@kansai-venture.org)

【主催】 関西ベンチャー学会

【後援】 近畿経済産業局、大阪府、兵庫県、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会、大阪商工会議所、日本政策金融公庫、日本経済新聞社大阪本社、毎日新聞社、日刊工業新聞社、公益社団法人関西ニュービジネス協議会、一般社団法人日本ベンチャー学会、関西ベンチャー研究会ネットワーク（神戸・大阪・北摂・京都）、非営利コンソーシアムJapan America Business Initiatives(JABI)

# 年次大会の趣旨

2000年代以降、わが国の新規開業支援施策は段階的に政策進化を遂げてきました。2022年には、ユニコーン企業創出を目指す「スタートアップ育成5か年計画」が策定され、リスクマネー供給の増大やアントレプレナーシップ教育の推進など、スタートアップ・エコシステム構築が国家戦略として強力に推進されています。こうした流れを受け、特定の高等教育機関（特に私立大学）では、インキュベーション・プログラムやメンタリング・リソースといった学内支援機構の整備を背景に学生によるスピニアウトやスタートアップ設立がしています。しかしながら、環境的要因が整うだけでは、リスク回避傾向の強い学生の起業マインドを喚起し、行動意図を高めることは困難です。彼ら・彼女らの自己効力感や内的動機を形成する決定的なトリガーは一体何でしょうか？

本大会では、開業率の低位安定という状況に変化を起こすため、起業を志す個人の認知的側面、特に起業マインドの高揚に焦点を当てます。アントレプレナーの視点に立ち、失敗許容文化の醸成やビジョン・メイキングを促す具体的な行動学的アプローチについて議論を深め「起業家輩出への更なる挑戦」を成功させるための理論的かつ実践的な処方箋の導出を目指します。

# 大会次第

10:00～11:30	研究発表
11:40～12:00	年次総会（会員のみ） （昼食）
13:00～13:05	関西ベンチャー学会会長 文能照之 あいさつ
13:05～13:10	開催校(近畿大学)あいさつ
13:10～14:50	基調講演 ①学校法人近畿大学 常任理事・経営戦略本部長 世耕石弘氏 「近大流コミュニケーション戦略としての起業支援」 ②東京科学大学 特任教授、関西ベンチャー学会・日本ベンチャー学会理事 東京医科大学理事 杉田定大氏 （元経済産業省大臣官房審議官、元日中経済協会専務理事） 「わたしのベンチャー応援人生を振り返って」
14:50～15:00	休憩
15:00～16:00	パネルディスカッションテーマ：起業予備軍の発掘から起業へ コーディネータ：大阪公立大学大学院 教授 小関珠音氏 パネリスト： ①学校法人近畿大学 常任理事・経営戦略本部長 世耕石弘氏 ②東京科学大学 特任教授、関西ベンチャー学会・日本ベンチャー学会理事 東京医科大学理事 杉田定大氏 ③女性起業家コミュニティわくらく 代表 三根早苗氏 ④株式会社やるかやらんか 代表取締役CEO 西 奈槻氏
16:10～16:50	KINCUBA Basecamp見学
17:00～18:30	懇親会

# 研究発表

第1会場 企業・産業支援	座長：定藤繁樹（大阪学院大学）
米国ボストンのスタートアップエコシステム：成功の軌跡と今後の課題 発表者 三森八重子（大阪大学） コメンテーター 辻 周吾（流通科学大学）	
自治体による経営革新支援事業の効果と課題 ー沖縄県「中小企業等経営革新強化支援事業」の事例分析からー 発表者 松平 好人（琉球大学） コメンテーター 丸山一芳（京都橋大学）	
産業支援組織の事例研究 発表者 野長瀬裕二（摂南大学） コメンテーター 小西一彦（兵庫県立大学）	
第2会場 グローバル経営	座長：釣島平三郎（つるしま経営事務所）

DXによる越境競争力の再構築：SHEINの事例を通して 発表者 劉 亜文（近畿大学院生）・文能照之（近畿大学） コメンテーター 仲川幾夫（関西学院大学）	
ファーストリテイリングの成長要因とSPAおよびベトナム市場の可能性についての考察 発表者 VU NGOC ANH NGUYET（ブウ・ゴック・アン・グェット、大阪学院大学院生） コメンテーター 武居奈緒子（摂南大学）	
ベトナム・ダナンにおける大学生向け起業研修プログラムの実施内容とその効果、今後に向けての課題について 発表者 天野了一（四天王寺大学） コメンテーター 貝掛祥広（九州共立大学）	

# パネリスト・コーディネーター経歴

## 世耕 石弘(せこういしひろ)氏 【学校法人近畿大学 常任理事・経営戦略本部長】

奈良県出身。大学を卒業後、1992年近畿日本鉄道株式会社に入社。以降、ホテル事業、海外派遣、広報担当を経て、2007年に近畿大学に奉職。入試広報課長、入学センター事務長、広報部長、総務部長を歴任。2020年4月から広報室を配下に置く経営戦略本部長となり、2025年5月から常任理事に就任し、現在に至る。

## 杉田 定大(すぎたさだひろ)氏 【東京科学大学 特任教授、関西ベンチャー学会・日本ベンチャー学会理事、東京医科大学理事】

1980年に経済産業省（旧通商産業省）入省後、大臣 秘書官補佐、マレーシア大使館、大阪通商産業局などの勤務を経る。1997年に初代の新規産業課長に就任して、西沢昭夫東北大教授(当時) 座長にした店頭市場研究会の報告書をベースに、ストックオプション制度税制・エンゼル税制などの導入、ナスダック・ジャパンの創設、さらにはIPO制度の拡充など多くの第二期ベンチャー政策の制度設計・実践にかかわる。その後も新規成長分野のSBIIRなどの支援やPFI制度を通じた官製市場の民間開放などを通じてベンチャー振興を実践。退官後も（財）日中経済協会ではアリババのジャックマーなどとの日中ベンチャー交流に尽力。現在も、数社のベンチャー企業の役員や顧問を兼務し、東京科学大学（旧東京工業大学）では十数年にわたって、大学発ベンチャーのために「ベンチャー未来塾」を主宰してベンチャー経営者や企業内ベンチャーの幹部を育成支援し、グローバルモビリティなど数社のIPOの実現をさせた。その間、細川信義先生や木村隆之さん（京都C-design）とのご縁で大阪と京都ではベンチャー勉強会を30年以上にわたって開催してきた。

## 小関 珠音(おぜきたまね)氏

【大阪公立大学大学院 教授】

大阪公立大学大学院都市経営研究科（社会人大学院）教授。博士（学術）東京大学。関西学院大学大学院非常勤講師、山形大学客員教授。一橋大学卒業後、日本興業銀行等での勤務を経て、2016年より大阪市立大学に着任。教育・研究領域は、イノベーション論及びビジネスモデル論。イタリア・パドバ大学（創立1222年）との大学間協定に基づく共同研究を実施、(株)ジャパンディスプレイ社外取締役、(株)脱炭素化支援機構社外取締役、(株)幹細胞&デバイス研究所 共同創業者/元CF0。

## 三根 早苗(みねさなえ)氏

【女性起業家コミュニティわくらく

代表】

京都大学大学院修了。2004年に女性起業家コミュニティ「わくらく」を設立。大阪を拠点に22年間、スモールビジネスの女性起業家を中心に1,500名以上の起業・事業成長を支援してきた。起業前の準備段階から、事業計画づくり、集客、資金計画、経営の継続支援まで一貫して伴走するスタイルが特徴。商工会議所や行政機関と連携した創業支援・セミナー講師も多数務める。迷いや不安を抱える「起業家予備軍」が、自分らしい形で一歩を踏み出すための環境づくりと、仲間と共に成長できるコミュニティづくりに力を注いでいる。本人の強みを活かしたビジネスモデルづくり、テストマーケティングの場の提供を通して事業成長を支えている。

## 西 奈槻(にしなつき)氏

【株式会社やるかやらんか 代表取締役CEO】

2000年5月29日生まれ 25歳 奈良県橿原市生まれ 近畿大学附属高等学校（東大阪）近畿大学農学部水産学科卒業（富雄）近畿大学大学院 起業イノベーション学位プログラム2年生 在学中 高校3年まではプロドラマーを目指し渡米  
2020年コロナをきっかけにノリで奈良市でラーメン屋を開業  
2021年に近畿大学とKINDA Ramen Ventureを立ち上げ2店舗目を開業  
2022年4月に株式会社やるかやらんかを登記  
「日本の若者に“選択肢”を示す」をビジョンに掲げ、奈良を拠点とするプロデュースカンパニー。ならまちの麻婆豆腐ラーメン専門店「すするか、すすらんか。」の経営を皮切りに、現在は、麻婆豆腐ラーメン専門店「すするか、すすらんか。」2店舗とつけ麺専門店「つかる、つける。」、和ドーナツ専門店「Donut do.」を運営している。若者をターゲットとした空間のプロデュースや、クリエイティブ・SNSを駆使した、企業のブランディングプロデュースなどを行う。